

# 吉野作造記念館だより

第28号  
2019年4月  
〜  
2020年3月



GW イベント (5月5日)



クリスマス会 (12月15日)

**みんなで決めよう!** ～はじめての選挙体験～  
子ども向けの主権者教育として、模擬投票イベントを開催。動物たちのゆかいな人形劇を観て、だれの意見が一番いいか、子どもたちの投票で決めてもらいました。

## 開館25年

～四半世紀を経て、私たちが取り組むべき課題は何か～

館長 氏家 仁

吉野作造記念館（以下、記念館）が1995年（平成7）1月29日に開館して、今年25周年を迎えました。皆様のご支援に謹んで感謝申し上げます。

市民の「吉野作造博士を顕彰していこう」という思いが形となった日が、昨日のように思い出されます。戦後の1947年（昭和22）、吉野作造の長男俊造氏により『吉野作造博士民主主義論集』が刊行、1950年（昭和25）には教え子を中心に東京で「吉野博士記念会」が結成されました。吉野の故郷古川でも1962年（昭和37）の「吉野先生を記念する会」結成を機に顕彰運動が高まりを見せ、記念館開館に繋がります。民主主義の先駆者吉野作造の業績と精神は、このようにして引き継がれてきたのです。

記念館には吉野作造ご遺族から寄贈された遺品、開館までに収集された吉野著作をはじめ、大崎地域に残された文化財から最新の研究文献まで、多岐にわたる膨大な資料が収蔵されています。NPO法人古川学人が指定管理者となって以降も、資料の収集は積極的に続けられております。

事業の面でも、古川学人では企画展や講演会だけでなく、人材育成研修会や吉野作造研究賞、研究紀要の発行など新たな事業に取り組んで参りました。近年は地域の学校との連携を強めつつ、主権者教育をはじめとする実践的な活動や研究、国際的なネットワークづくりなど、記念館としての使命をより豊かに果たしていく道を模索しています。

記念館は大崎市の施設であると同時に、市民参加と協働によって成り立つものへと姿を変えてきています。吉野作造の精神を次代に繋ぐためには、教育と人材育成が基軸となることは言うまでもありません。講演会や講座、学校での主権者教育によって広く、研究者や学生のネットワークと人材育成によって深く、研究と発信を行っていくことが必要です。記念館はこれからです。発信力が試される時期に入ります。

民主主義が岐路に立つ現代、民主主義の定着に尽力し、その根本として政治教育の重要性を説いた吉野作造に勇気をもらいつつ、私たちのなすべきことは何かと課題を突きつけられているように思う、昨今です。



# トピックス (2019年4月～7月)



5月3日

## 憲法記念日講演会

講師：晴山一穂氏

(専修大学・福島大学名誉教授)

今年度の憲法記念日講演会は「日本国憲法と公務員の役割―全体の奉仕者―としての公務員のあり方を考える―というテーマ。戦前から戦後の公務員制度と、公務員に求められてきた役割の変遷を憲法からたどり、これからの公務員のあり方について問う内容でした。

5月5日

## GWイベント

古川高校合唱部によるコンサート、ミニチュアのお弁当づくり、「吉野作造かるた」によるかるた大会など、楽しいイベントが盛りだくさん。約500名の来場者にぎわいました。



6月29日・30日

## あなたを、忘れない

―ここををむすぶコンサート―

演奏：土田英順氏(チェロ)

北矢由美氏(ピアノ)

東日本大震災の津波で犠牲となった女性が遺したチェロを携え、復興支援のため全国を飛び回るチェロ奏者・土田英順氏のチャリティーコンサート。記念館では4回目となる今回はピアノリストの北矢由美氏をゲストに迎え、災害を乗り越えた力強く優しい音色を響かせました。



7月6日

郷土史講座

## 慶長遣欧使節とキリシタン

講師：濱田直嗣氏  
(サンファン館館長)

今年度の郷土史講座は、石巻市にある宮城県慶長使節船ミュージアム(サンファン館)館長の濱田直嗣氏をお招きしました。支倉常長たち慶長遣欧使節団の目的と動向、仙台藩のキリシタンなどについて、新説も交え解説していただきました。





# 企画展&関連イベント (前期)

7月14日～9月22日  
前期企画展

## 民衆とともに生きる

―吉野作造・布施辰治と  
復興の精神―

後援：石巻市

石巻市教育委員会

大崎市

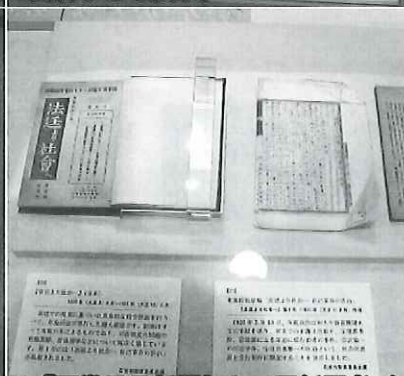
大崎市教育委員会



布施辰治の弁護活動や関東大震災時の活動に関する遺品、また布施自身が治安維持法違反で裁判にかけられた際の資料などを展示。



展示後半では東日本大震災時の手書きの「石巻日日新聞」と、同紙記者が撮影した東日本大震災直後の石巻市内の写真を紹介しました。



大正デモクラシーの時代、労働者、植民地朝鮮の人々など、弱い立場に置かれた民衆に寄り添い、守るために生涯をかけた石巻市出身の弁護士・布施辰治にスポットを当てた企画展。東日本大震災の津波被害を免れた、石巻市所蔵の布施辰治関連資料を多数展示しました。

7月28日  
前期企画展記念講演会

## 東日本大震災を伝える

―未来への教訓―

講師：平井美智子氏

(石巻日日新聞社常務取締役)



関東大震災の時、布施辰治は獄中の被災者や、住居を失った借家住民の救援に奔走しました。それから88年後の東日本大震災では、布施の故郷石巻の地方紙「石巻日日新聞」が、被災者に向けて震災翌日から6日間にわたり壁新聞による報道を続けました。本企画展では時代を超え震災に立ち向かった両者を合わせて紹介、また「石巻日日新聞」デスクとして指揮をとった平井美智子記者をお招きし、震災時の様子、震災の教訓を次代に伝える取り組みについてお話をいただきました。

4月27日～5月30日

## 「吉野作造かるた」展

in大崎市図書館



4月1日～12月3日

## 日本女子スポーツの母・

二階堂トクヨ展



日本女子体育大学創立者で、大崎市三本木出身の二階堂トクヨを紹介するパネル展示。



# トピックス (2019年8月～10月)

## 人材育成研修会

8月30日～9月1日  
第13回吉野ネットワーク



吉野作造を通じた研究者のネットワークづくりを目指し行われている人材育成研修会。今回は6大学から18名の学生が参加しました。30日は記念館で阿川尚之同志社大学特別客員教授による基調講演会「第一次世界大戦とアメリカ、そして日米関係」を開催（一般公開）。

31日は会場を美里町でんえん土田畑村に移して小嶋翔当館研究員、奈良岡聰智京都大学教授による講座、1日は記念館で成果報告会を行いました。

9月15日・29日  
芸術・文化講座

## 切込焼の歴史と魅力

講師：畠山静子氏  
(切込焼記念館学芸員)

江戸時代後期に加美町の切込地区で生産されていた陶磁器・切込焼についてお話いただきました。9月29日には切込焼記念館見学と陶芸体験ツアーを開催し、歴史ある陶磁器の魅力を目で味わい、手で楽しみました。



陶芸体験ツアー (9月29日)



10月1日  
芸術・文化講座

## 朗読ワークショップ

講師：渡辺祥子氏  
(フリーアナウンサー・朗読家)

仙台を拠点にフリーアナウンサーとして活躍する渡辺祥子氏を講師に迎えたワークショップ。金子みすゞや芥川龍之介の作品をテキストに、朗読を基礎から学び、自分の声で伝える表現の魅力を味わう講座となりました。

10月20日

## 音楽で時代をつなぐ コンサート

共催：ハーモニーフォレスト

吉野作造が生きた大正～昭和から令和へと、時代を歌でつなぐコンサート。ポピュラーに武田夏子氏、今野匠氏、ピアノに宮吉英彰氏を迎え、地域のコーラスグループも加わり楽しいコンサートとなりました。





# 【コラム】吉野作造記念館の企画展

現代の私たちは、吉野作造からどんなことを学べるのでしょうか。企画展では、いつもこのことを考えてテーマを決めています。

吉野作造の功績ですぐに思いつくのは大正デモクラシー。つまり、日本に民主主義の考え方を広めたことです。また、東アジアの友好・相互理解に尽くしたこともよく知られています。「吉野作造と近代中国」(2013年)、「自由を愛し、平和を貫く」(2016年)、「90年前の清き一票」(2017年)などは、吉野の主な業績にちなんだ王道テーマでした。しかし、企画展は年に2回、同じテーマばかりもできません。最近では、吉野作造のデモクラシーの精神に適ったテーマを広く考えています。

吉野作造は、どんな政治でも、結局の目的は人々の暮らしを守ることだと言いました。そのために、一人一人が責任ある社会の担い手にならなければいけないというのが、吉野作造が考える民主主義です。「吉野作造と賀川豊彦」(2014年)、「暮らしの向上を求めて」(2016年)は、そうした関心の企画展でした。また、人々の暮らしがどんな問題を抱えているかは、時代によって少しずつ違います。災害復興や女性の活躍、働き方、子育てなど、現代的なアレンジも必要です。「吉野作造と震災・復興」(2011年)、「子育ての昔と今」(2017年)、「時代をつくった女性たち」(2018年)、「働く人の権利を求めて」(同)などはその例です。



そしてこの考え方は、企画展以外の事業でも同じです。たと

えば、年2回の子ども向けイベント(GW・クリスマス)では、子どもたちと保護者を対象に、ホンモノの投票箱を使った投票体験コーナーを設けています。子どもの頃に家庭で選挙に触れる機会があると、成人しからの投票率が高いそうです。また、若者の社会貢献を表彰したり、芸術・文化に関するイベントを開催したり、健康相談コーナーがあったり(外ラウンジ)するのも、すべて同じ理由です。

「暮らしと民主主義」が続く限り、吉野作造の精神はあらゆる場面で活かすことができます。そこは私たちのアイデア次第。企画展が、アイデアのヒントを見つける機会になればと思っています。

小嶋翔(吉野作造記念館研究員)





# トピックス (2019年11月～2020年3月)

11月16日  
読売・吉野作造賞受賞者講演会

## 日米開戦における意思決定

― 少数政治と多数専制の間で ―

講師・牧野邦昭氏  
(摂南大学准教授)

2019年度読売・吉野作造賞受賞作『経済学者たちの日米開戦』（新潮社）は、旧日本陸軍が諸外国の経済力・抗戦力を分析するために設置した通称「秋丸機関」に関する新資料を紐解きながら、対米開戦の決定に至るまでの経緯を明らかにしたものです。受賞者の牧野氏をお招きし、新資料発見の経緯なども交え貴重なお話を頂きました。



4月～6月（前期）  
10月～11月（後期）  
基礎講座

## 吉野作造の文章を 読んでみよう

読みやすい文章を中心に、吉野作造の原著を読む講座。前期・後期各3回の講座では第1回は佐藤学芸員が吉野の手紙を、第2回・第3回は氏家館長が吉野の随筆等を解説しました。都合に合わせて参加できるよう、各回同じ内容で木曜日・土曜日の2回開催しました。

12月15日

## クリスマス会

ハンドベルコンサート、キャリーボックス作り、バルーンアート、NPOハッピーイート大崎の料理教室などのイベントを開催。人形劇「ケロッキーパー」と回転ずし」とコラボした子ども投票体験も実施しました。



2月29日  
歴史講座

## 災害と向き合う人々

― 災害はどう伝えられたか ―

講師・後藤彰信氏

後期の歴史講座第1回は、1896（明治29）年の明治三陸大津波をテーマに、報道を通じて災害が被災地域の人々の体験を超えた全体像が形成され、社会の共通体験となっていく過程をみるものでした。

※3月7日に予定されていた第2回講座は、大崎市の新型コロナウィルス対策措置に伴い中止となりました。





# 企画展&関連イベント (後期)

1月12日～3月22日  
後期企画展

## 尚志

—東北帝国大学と  
宮城の高等教育—

共催…東北大学史料館  
後援…大崎市  
大崎市教育委員会

吉野作造が青春時代を過ごした仙台は、第二高等学校、東北帝国大学などが立ち並び、全国から多くの夢を抱く若者が集う街でした。本企画展では、東北大学に残された貴重な資料を多数展示し、戦前の「学都」仙台の学生群像を紹介しました。



三高の学生生活、日本で初めて帝国大学に入学した女性・黒田チカ、戦時中の東北帝大に関する資料を展示。

※大崎市の新型コロナウイルス対策措置に伴い、後期企画展は3月1日をもって閉幕しました。また、3月15日に開催を予定していた企画展記念講座「宮城から世界に目を向ける〜吉野作造と大槻文彦に学ぶ〜」(講師…後藤齊・東北大学文学研究科教授)は中止となりました。

2月13日・15日  
後期企画展関連講座

## 昔の学生の読書

「吉野源三郎『君たちはどう生きるか』を読んでみよう」



近年リバイバルヒットした名著を小嶋翔当館研究員が解説。合わせて後期企画展の展示解説会も開催しました。

12月14日

## 井上ひさし展2020



作家井上ひさし(当館名誉館長)没後10年記念「井上ひさし展2020スタンプラリー」は、井上事務所・遅筆堂文庫主催による、井上ひさしゆかりのミュージアム6館共同の企画です。東北から関東までの各館の展示を観覧し、3館以上のスタンプを集めた方には、素敵なプレゼントもあります。  
当館では、戯曲『兄おとうと』の作成資料や、井上ひさしの父・小松滋(井上修吉)の小説『日丸伝奇』が掲載された1935年10月の『サンデー毎日』などを展示しています。  
(2020年12月まで開催)



# ● NPO法人古川学人へのご支援・ご協力のお願い ●

NPO法人古川学人（吉野作造記念館指定管理者）は、  
吉野作造のデモクラシーの理念を継承し、  
市民一人一人の力による民主主義社会の発展に貢献します。

## NPO法人古川学人がめざすもの～3つの作造る～

NPO法人古川学人では、吉野作造記念館の運営に加えて独自に3つの事業領域を持つことで、総合的な社会教育、市民社会づくりに取り組んでいます。

### 人づくり

#### —主権者教育—

将来の有権者である青少年の  
政治教育・選挙教育に  
取り組めます。

- 高等学校等での主権者教育
- 支援学校での主権者教育・代理投票の啓発
- 高校生デモクラシー塾
- 子ども投票体験
- 親子で選挙に親しむ絵本の作成（準備中）

### 街づくり

#### —市民社会育成—

一人一人の市民が主役になる  
地域社会の担い手育成に  
取り組めます。

- おおさき社会貢献大賞
- 吉野作造フェローシップ
- 芸術・文化振興事業（芸術・文化講座ほか）
- 市民交流事業（GW イベント・クリスマス会ほか）

### 未来づくり

#### —次世代育成—

未来社会の主役である  
子どもたちの社会教育・  
文化教育に取り組めます。

- 吉野作造記念弁論大会
- 自由研究サポート
- 大崎市学校巡回パネル展
- 教育支援事業（NPO法人Synapse40への協力）
- 健康増進事業（NPO法人ハッピーート大崎との共催）

ほか、東アジア交流事業、被災地支援事業などにも取り組んでいます。

## ○活動を支援する

NPO法人古川学人の事業は、民主主義社会の主役であるみなさまのご寄附によって支えられています。NPO事業全般に関するご寄附のほか、個別の事業へのご寄附も受けつけています。詳しくは吉野作造記念館ウェブサイトをご覧ください。

## ご寄附のお申し込み・お問い合わせ

吉野作造記念館

☎ 0229-23-7100 Fax 0229-23-4979

Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

## 記念館ウェブサイト(NPO事業について)

<https://www.yoshinosakuzou.info/npo-2>

（寄附フォームへのリンクがあります）

ご寄附いただいた

みなさまのご紹介

（2019年4月1日～

2020年3月31日）

公表のご了承をいただいた方のみ  
ご紹介させていただきます。

## 個人様（受付順）

大益 三樹子様  
氏家 仁様  
太田 哲男様  
後藤 昇様  
高橋 静江様  
高郷 成子様  
小口 晃平様

## 団体様

吉野作造を学ぶ会 様  
檻の中のライオンin古川  
実行委員会 様

氏名非公表ご希望 1名様

合計 321,000円

※宮城県共同募金会「みやぎチャレンシプロジェクト」へのご寄附については、P19でご紹介しています。



NPO 法人古川学人「3つの作造くつくる」

# 人づくり —主権者教育—

## 高等学校向け

### 特別授業・出前講座

選挙権の拡大と国民の政治意識の向上は、吉野作造の生涯のテーマでもありました。

吉野作造記念館では2016年に18歳選挙権が導入されたことを受け、県内の高等学校などと協力し、選挙権拡大の歴史や、選挙を通じて政治に参加することの意義を学ぶ主権者教育の特別授業を行っています。



古川学園高等学校3年生 (12月10日)



泉館山高等学校2年生 (7月19日)



東北学院榴ヶ岡高等学校2年生 (4月26日)



第1回 (5月5日) ミーティング  
川向思季さん (長野県立大学) をコーディネーターに、自分たちの関心・課題を整理し発表。



第3回 (7月14日) 「記者から見た地域社会」  
講師: 喜田浩一氏 (河北新報大崎総局)



第2回 (5月26日) 「地域の中で子どもたちを育てる」  
講師: 千葉繁美氏 (NPO 法人 Synapse40 代表理事)

## 大崎高校生ミライカイギ (高校生デモクラシー塾)

2期目を迎えた高校生デモクラシー塾。2019年度は「大崎高校生ミライカイギ」と題し、「地域社会の課題を知り、参加する」ことをテーマに様々な講座を開催。大崎市内外から18名の高校生が参加しました。



● NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 **街づくり** — 市民社会育成 — ●

1月26日

**おおさき社会貢献大賞表彰式**

**&吉野作造フェローシップ**

吉野作造生誕記念イベントに合わせ、より良い社会を目指す若者の活動を顕彰する第2回おおさき社会貢献大賞表彰式を開催しました。また2019年度より、社会の課題解決のための新しいアイデア・企画を支援する「吉野作造フェローシップ」がスタート。選考された企画は、最大で10万円の活動資金が援助されます。



おおさき社会貢献大賞 優秀賞  
敷玉小学校1～6年生138名



おおさき社会貢献大賞 最優秀賞  
岩出山中学校3年生78名

おおさき社会貢献大賞 最優秀賞

**「修学旅行における**

**岩出山のPR活動」**

岩出山中学校3年生78名

東京方面への修学旅行の際にパンフレット配布や物産の紹介、演舞などで大崎市岩出山をPRするという活動。ふるさととの将来を担う若者の「利他の心」を育む内容、11年間にわたって岩出山と東京をつないできた継続性と貢献度が高く評価されました。

吉野作造フェローシップ採用企画

**「大崎高校生ミライゼミ」**

川向思季さん

大崎地域をフィールドとした活動の企画立案・実行、およびその過程での交流とコミュニティ形成を通じ、高校生たちの政治や社会への当事者意識と参加意欲を育み、地域や社会へのインパクトを与えることをねらいとしたプロジェクト。

おおさき社会貢献大賞

優秀賞（3件）

- ・「お弁当から見える世界」  
古川学園中学校2年 若見桃花さん
- ・「交通安全活動の推進」  
大崎市立敷玉小学校1～6年生138名
- ・「まちづくり学習」  
古川中学校3年生216名

奨励賞（2件）

- ・「岩出山小学校児童に対する読み聞かせ」  
岩出山高校3年生18名
- ・「高校生が考えた駅からハイキング」  
大崎市鹿島台を歩く水の重さとトマトの甘さ」  
鹿島台商業高等学校2・3年生30名

努力賞（6件）

- ・「ぼうさい探検隊の実施・防災マップ作り」  
鹿島台小学校防災探検隊（昨年度5年生10名）
- ・「進め！環境探検隊〜化女沼の自然〜」  
宮沢小学校5年生13名
- ・「児童会におけるいじめ未然防止の取組「いじめゼロCM」づくり」  
宮沢小学校6年生13名
- ・「ランドセルプロジェクト」  
古川高等学校2年生3名
- ・「古川まつりへの出店」  
古川黎明・小牛田農林高校生徒会  
高校1・2・3年生25名
- ・「文化祭チャリティバザー売上金の寄託」  
古川学園高等学校新聞部  
3年生3名・2年生3名



● NPO 法人古川学人「3つの作造くつくる」 **未来づくり 一次世代育成** ●

12月14日

**第1回 吉野作造記念弁論大会**

(第6回) 宮城県高等学校弁論大会

主催：宮城県高等学校文化連盟

共催：宮城県教育委員会 NPO 法人古川学人

後援：大崎市教育委員会 河北新報社 大崎タイムス社

吉野作造記念館を会場に宮城県高校生弁論大会が開催されました。最優秀賞ほか2賞に加え「吉野作造特別賞」を設け、氏家仁館長が審査に参加。8校10人の高校生たちが熱弁をふるいました。



吉野作造特別賞 鎌田正哉さん  
(柴田農林高等学校川崎校1年)

最優秀賞 相澤空南さん  
(築館高等学校2年)

最優秀賞

相澤空南 (築館高校2年)

「ドリームボックスを無くすために」

優秀賞

桑島直生 (加美農業高校2年)

「守りたいもの」

優良賞

阿部邑呂 (泉松陵高校2年)

「責任とどう向きあうか」

吉野作造特別賞

鎌田正哉 (柴田農林高校川崎校1年)

「差別のつらさ」

7月27日・8月2日

**吉野作造記念館で自由研究!**



吉野作造記念館でさまざまな先人を紹介する展示を見学し、夏休みの自由研究に活かしてもらおう企画でした。

**大崎市学校巡回パネル展**

宮城県教育委員会が進める、社会人としての自覚と主体性を育む教育「みやぎの志教育」をふまえ、郷土の先人を学校教育で活用する取り組みを支援するため、記念館では吉野作造の業績やエピソードを紹介するパネル展「わたしたちの先輩・吉野作造」を大崎市内の小・中学校で開催しています。

2019年度は、古川第五小学校で1ヶ月間にわたり展示を行いました。



古川第五小学校 (9月10日～10月11日)



## ● 学生のみなさんのご感想 (抜粋) ●

お寄せいただいたお手紙やご感想の一部を紹介します。

### 〈職場体験実習〉



古川中学校職場体験 (7月2日~4日)

皆様の姿を見ながら、お客さんが聞き取りやすい話し方や、展示物を分かりやすく説明している所がとてもすごいということを感じました。また実際に仕事を行ってみて、お客さんはどのようにされたら気持ちが良いかを考えることが大切だと思いました。また、展示物などの資料を守り歴史を伝えていくことが大切だと思いました。

(古川中2年 児玉新さん)

今回の体験で学んだことは、職

員の皆様がお互いに特技を活かし、足りない部分は補いあって経営していることです。職員の皆様は協力し合っていてとても大変な仕事だと改めて感じました。調査能力や対応能力が無ければ務まらない仕事だと思いました。

(古川中2年 佐々木雅華さん)

### 〈団体見学〉



古川黎明高校文芸部見学 (6月1日)

私は将来舞台女優になりたいと思っています。そのために、様々なことを勉強し、吸収していきたいです。吉野作造さんに関する本も読んで知識や教養を広げたいと思います。貴重な展示物も、心惹かれるものでした。葉書

や手紙、写真といった資料をまた機会があればじっくり見たいです。

(古川黎明高3年 佐藤鈴佳さん)

私は現在高校三年生で受験生です。将来を見つめ、その理想を叶えるために努力しなければいけない時期でもあります。しかし、私は自身の将来を完全に決めきれず、未だに迷い続けています。しかし今回吉野作造の生涯を見ることによって、どんなに大きな事を成し遂げた人も目の前の小さなことを丁寧になさっていたのだということと、吉野作造も大学に入ってやっと行く先を見つけたのだから焦る必要はないということに気づきました。なので自分のやりたい事をいつかできるように、今勉強を頑張っていこうと思います。

(古川黎明高3年 氏家詩織さん)

### 〈主権者教育〉

選挙に行かない理由の1つとして、投票所に行くのが面倒くさいということが挙げられると思うの

で、行く手間を省くという観点から、スマホで投票する制度を作れば良いと考えた。1日の中でスマホをいじらない人はほほいなので投票しやすくなり、投票率が少しは上がると思う。

(泉館山高2年 青柳あずささん)

私が今回の講話を聴いて心に残ったことは、吉野作造の「自分で自分の生活を決定する責任」という言葉です。この言葉以外にも一人一人が政治に目を向けて政治に参加することが大切なのだということを学ぶことができました。

(泉館山高2年 中島真子さん)

これからは機会があれば周りの友達や家族とも政治に関わる話をするべきだと感じた。話し合うことで、より考えを深められるし、周りで政治に興味をもつ人が増えれば、投票率も高められると思う。今後の日本をよくするためには、やはり若い人が積極的に政治に参加しなければいけないと思う。自分がまずは積極的に選挙に行くようにしていきたい。

(泉館山高2年 佐々木諒和さん)



# 学芸部トピックス

2020年3月3日

## 新しい資料取扱の要領施行



教育委員会に台帳提出 (3月19日)

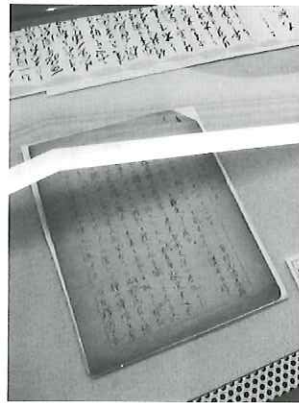
吉野作造記念館所蔵資料の取扱要領が定められ、大崎市と指定管理者が連携した、より適切な資料の保存と活用が規則化されました。それに伴い記念館全所蔵資料の台帳が作成され、NPO法人古川学人から市に提出されました。

吉野作造記念館所蔵資料は、1962年に当時の三浦篤古川市長ら市民有志により結成された「吉野先生を記念する会」が中心となり蒐集してきたもので、吉野作造ご遺族や関係者から寄贈された遺品・書籍を中心に、2006年以降NPO法人古川学人が蒐集した資料なども含みます。今

回台帳に収録された総点数は7,770点にのぼり、うち54点は2016年に大崎市指定文化財となっています。

6月5日・12月4日

## 常設展示室展示替え



今回の展示替えでは、ここ数年の間に新たに蒐集した資料を多数展示しました。

吉野作造の論説「クルランボオ」の原稿(写真)は、大佛次郎(野尻清彦)の訳によるロマン・罗兰の著作の書評です。「鞍馬天狗」で知られる作家大佛次郎は東京帝大政治学科出身で、吉野に強く影響された学生の一人でした。ふたりの師弟関係を伝えるとともに、作中の世界協調思想に対する吉野の強い共感が示された資料です。

1月25日

## 第3回 吉野作造検定

今回は、試験会場として記念館の他に仙台会場(せんだいメデイアテーク)を設置。より幅広く挑戦者を募集しました。

検定問題は3種で、今回から新たに「上級」が登場。この筆記・論述問題も多数含む最高難易度の検定には3名の方が果敢に挑戦しました。また、同日に受験者向け入門講座も開催しました。



## 資料調査

5月10日

石巻市教育委員会(布施辰治関係資料)、石巻ニューゼ

8月20日

佐々木家(大崎市古川七日町)、佐々木家(同駅前大通)

7月17日

吉野家(東京都)

8月28日

常陸家(加美町)

10月8日

東北大学史料館、東北大学附属図書館

12月25日

大崎市教育委員会(桜井順蔵文書 中吉野作造関係書簡)

## 研究発表・執筆活動

・小嶋翔「社会主義者」としての吉野作造(『日本史研究』687号、2019年11月)

・小嶋翔「社会政策と自由の間―戦間期国内デモクラシーの諸相と課題」(『吉野作造研究』16号、2020年4月)

・小嶋翔・佐藤弘幸「史料紹介」守屋栄夫宛吉野作造書簡(国文学研究資料館所蔵・守屋栄夫文書)(同右)

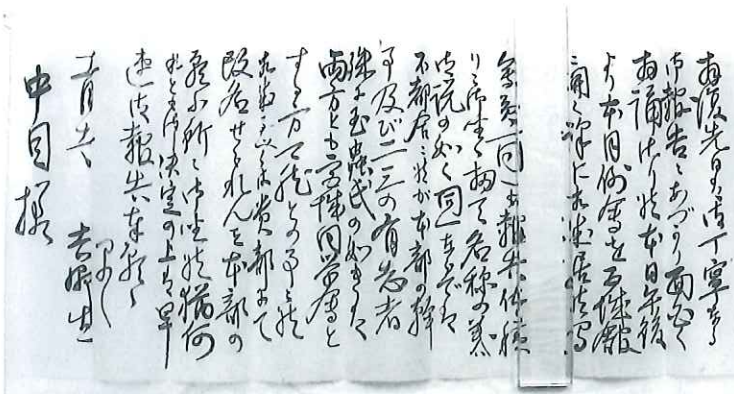
・佐藤弘幸「史料紹介」吉野作造 発信書簡―中自覚、福永重勝あて―(同右)



# 新収蔵資料紹介

## 中目覚めて吉野作造書簡

(明治31年11月11日)

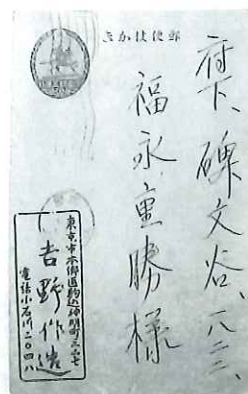


吉野作造が旧制第二高等学校に在学中の書簡です。現在まで確認される限り、吉野作造発信の書簡の中では最も古いものと思われる。中目覚は旧制二高のOBで、後に言語学者・地理学者となりました。当時東京帝国大学在学中でした。

(2019年5月購入)

## 福永重勝あて吉野作造葉書

(昭和6年5月31日)



福永重勝は吉野作造と森本厚吉、有島武郎らが設立した文化生活研究会で出版業務に携わった人物で、警醒社社長・福永文之助の子です。内容は吉野が福永を支援して設立され、短期間で消滅した出版社・フロラ社に関するものとみられます。

(2019年1月購入)

## 『実業之日本』第22巻第13号

(大正8年6月)

支那問題号と題された特集号。「吉野作造氏曰く」として「鬱勃たる興国的新精神」と題したコメント記事を掲載。

(2019年9月寄贈)

## 寄贈資料一覧 (平成31年4月～令和2年3月)

- 『復元船サン・ファン・パウティスタ号大図鑑1990-2021』.....公益財団法人慶長遣欧使節船協会
- 高橋智史『RESISTANCE カンボジア 屈せざる人々の願い』.....神戸 克征氏
- 岡義武『転換期の大正』(岩波文庫).....五百旗頭薫氏
- 『みやぎ・仙台日本一百選』.....椎野 健作氏
- 井上ひさし著・井上ユリ編『井上ひさしベスト・エッセイ』.....井上 事務所
- 宮田光雄『ボンヘッファー—反ナチ抵抗者の生涯と思想』.....宮田 光雄氏
- 吉野先生を記念する会編『民本の鐘』.....吉野先生を記念する会
- 岡本央『泥んこ、危険も生きる力に ないないづくしの里山学校』.....岡本 央氏
- 『実業之日本』(大正8年6月号〔支那問題号〕).....桂島 啓介氏
- 『官報』(大正9年1月10日号外).....桂島 啓介氏
- 五百旗頭薫・奈良岡聰智『日本政治外交史』.....奈良岡聰智氏
- 佐々木公明『遠野での「物語」—プゼル先生最終章—』.....佐々木公明氏
- 大川純彦『暁鐘 五・四運動の炎を点けし者—革命家・李大釗の物語—』.....大川 純彦氏
- 長與進編・家田裕子著『マサリク/シートン=ワトスン/吉野作造/松永次—第一次世界大戦の比較国民思想—』.....家田 修氏
- 『FUKUSHIMA AND NUCLEAR DISASTERS, AND BEYOND』.....家田 修氏
- 村井良太『佐藤栄作—戦後日本の政治指導者—』.....村井 良太氏
- 『宮城ドレスメーカー女学院学則』.....菅原 一也氏
- 『生徒募集 宮城女学校高等女学部』(1941年).....菅原 一也氏
- 『入学案内 宮城女学校専攻部』(1939年).....菅原 一也氏
- 『東北歯科医学校学則』.....菅原 一也氏
- 『戦友』第129号(1921年3月).....菅原 一也氏
- 通信中学校入学者への案内.....菅原 一也氏
- 牧野邦昭『[新版] 戦時下の経済学者—経済学と総力戦—』.....牧野 邦昭氏
- 刈部直『基点としての戦後—政治思想史と現代—』.....刈部 直氏
- 武藤秀太郎『大正デモクラットの精神史—東アジアにおける「知識人」の誕生—』.....武藤秀太郎氏
- 西田彰一『躍動する「国体」 筧克彦の思想と活動』.....西田 彰一氏
- 『近代仙台研究会 第5回発表会報告集』.....菅野 恭彦氏
- 井上ひさし『完本 小林一茶』(中公文庫).....井上 事務所



# 2019年度の行事一覧 (出前講座等を含む)

2019年		参加者数
4月1日～12月3日	ミニ企画展「日本女子スポーツの母・二階堂トクヨ展」	7,681名
4月25日・27日	講座「吉野作造の文章を読んでみよう(前期)」	計48名
5月9日・11日	(全3回、講師：氏家仁館長・佐藤弘幸学芸員)	
5月30日・6月1日	主権者教育(東北学院榴ヶ岡高等学校2年生)	270名
4月27日～5月30日	吉野作造かるた展 in 大崎市図書館	—
5月3日	憲法記念日講演会(講師：晴山一穂氏)	41名
5月5日	GW イベント	484名
5月5日	高校生ミライカイギ①ミーティング	14名
5月26日	高校生ミライカイギ②「地域の中で子どもたちを育てる」(講師：千葉繁美氏)	16名
6月1日	見学(古川黎明高校文芸部)	12名
6月4日	常設展示室展示替え	—
6月29日・30日	あなたを、忘れない—こころをむすぶコンサート—	141名
7月2日～4日	職場体験実習(古川中学校2年生)	2名
7月6日	講座「慶長遣欧使節とキリシタン」(講師：濱田直嗣氏)	34名
7月13日～11月30日	大崎管内高校紹介コーナー設置	4,313名
7月14日～9月22日	前期企画展「民衆とともに生きる～吉野作造・布施辰治と復興の精神～」	1,396名
7月14日	高校生ミライカイギ③「記者から見た地域社会」(講師：喜田浩一氏)	16名
7月19日	主権者教育(泉館山高等学校2年生)	294名
7月27日・8月2日	記念館で自由研究!	2名
7月28日	前期企画展記念講演会「東日本大震災を伝える～未来への教訓～」(講師：平井美智子氏)	32名
8月7日	見学(古川南中学校美術部)	26名
8月18日・22日	映画「弁護士布施辰治」上映会	計38名
8月30日～9月1日	第13回吉野ネットワーク人材育成研修会	計117名
9月4日	古川ロータリークラブでの講演(講師：氏家仁館長)	40名
9月8日	高校生ミライカイギ④修了式	11名
9月10日～10月11日	大崎小学校巡回パネル展(古川第五小学校)	—
9月10日～14日	博物館実習	1名
9月15日	講座「切込焼の歴史と文化」(講師：畠山静子氏)	15名

9月18日・10月2日	仙台文学館ゼミナール(講師：小嶋翔研究員)	計158名
10月16日・10月30日	栗原市市民活動センターでの講演(講師：佐藤弘幸学芸員)	7名
9月25日	切込焼記念館見学&陶芸体験バスツアー	9名
9月29日	講座「朗読ワークショップ」(講師：渡辺祥子氏)	28名
10月1日	講座「吉野作造の文章を読んでみよう(後期)」	計37名
10月10日・12日	(全3回、講師：氏家仁館長・佐藤弘幸学芸員)	
10月31日・11月2日	音楽で時代をつなぐコンサート	131名
11月16日	読売・吉野作造賞受賞者講演会「日米開戦における意思決定—少数政治と多数専制の間で—」(講師：牧野邦昭氏)	46名
11月21日・23日	常設展示室展示替え	—
10月20日	見学(古川学園高等学校普通科総合コース3年生)	114名
12月4日	第6回宮城県高等学校兼第1回吉野作造記念弁論大会	60名
12月10日	井上ひさし展2020スタンプラリー in 吉野作造記念館	継続中
12月14日	クリスマス会	567名
12月14日～	見学(古川第三小学校3年生)	19名

2020年		参加者数
1月12日～3月22日	後期企画展「尚志—東北帝国大学と宮城の高等教育—」	916名
1月25日	第3回 吉野作造検定 吉野作造生誕記念イベント	9名
1月26日	記念講演「吉野作造と弁論—民本主義と言論の自由を求めて」(講師：氏家仁館長)	46名
2月6日	第2回おおさき社会貢献大賞授賞式・第1回吉野作造フェロウシップ発表 古川中学校キャリアセッション(講師：氏家仁館長)	18名
2月13日・15日	後期企画展関連講座「昔の学生の読書—吉野源三郎『君たちはどう生きるか』を読んでみよう」(講師：小嶋翔研究員)	16名
2月18日	宮城いきいき学園(講師：氏家仁館長)	23名
2月27日	出前講座(宮沢小学校6年生)	16名
2月29日・3月7日	歴史講座「災害と向き合う人々—災害はどう伝えられたか—」(講師：後藤彰信氏)	9名
3月15日	後期企画展記念講座「宮城から世界に目を向ける—吉野作造と大槻文彦に学ぶ—」(講師：後藤齊氏)	中止

## 令和元(2019)年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいた皆さま

古川高校合唱部 様	大崎市ボランティア協会 様	NPO 法人 ハッピーート大崎 様
NPO 法人 Synapse40 様	ポップカーン 様	宮城誠真短期大学 様
サークル「カリヨン」 様	パレットおおさき 様	バルーンたかしくん 様
パタ崎さん 様	高橋 憲夫 様	佐藤 幾子 様
宇津木 浩恵 様	川向 思季 様	土田 英順 様
北矢 由美 様		

心より御礼申し上げます



# 入館者・会場貸し出し・売上

## 入館者数

	有 料 入 館 者							合 計	無 料 入 館 者	総入館者 合 計
	一 般		高 校 生		小・中学生					
	個 人	団 体	個 人	団 体	個 人	団 体				
4 月	94	24	1	1	1	2	123	896	1,019	
5 月	116	15	0	0	2	0	133	1,102	1,235	
6 月	58	8	0	0	1	0	67	926	993	
7 月	112	15	0	0	0	0	127	898	1,025	
8 月	118	44	4	0	1	3	170	907	1,077	
9 月	98	10	2	0	0	0	110	860	970	
10月	73	35	0	0	0	0	108	1,144	1,252	
11月	79	24	2	0	0	0	105	809	914	
12月	71	33	1	0	0	0	105	1,214	1,319	
1 月	37	28	0	0	0	0	65	634	699	
2 月	86	69	1	0	0	0	156	712	868	
3 月	3	0	0	0	0	0	3	22	25	
合 計	945	305	11	1	5	5	1,272	10,124	11,396	

## 会場使用料

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料金	21,960	29,280	93,840	31,620	22,620	27,760	55,040	68,724	37,656	21,744	24,528	0	434,772

## 物品販売

### (刊行物販売)

書 籍 名	売 上
川原次吉郎編『古川余影』	3,600
吉野作造記念館編 『大正デモクラシーの旗手 吉野作造』	28,688
赤松克麿編『故吉野博士を語る』	2,000
千葉真弓『蒼色の眼差し』	1,500
『吉野作造研究』(研究紀要) 創刊号～第15号	16,054
『吉野作造記念館所蔵資料目録 (2012 年度版)』	6,074
『東アジア文化交流叢書』 創刊号	0
合 計	57,916

### (グッズ販売)

グ ッ ズ	売 上
テレフォンカード	0
ポストカード	2,100
一筆箋	16,640
クリアファイル	30,680
オリジナルコーヒー	277,280
合 計	326,700
総 計	384,616

(3月3日より利用制限あり)

## メディアでの紹介：102件

- 7月24日 石巻日日新聞 「[民衆とともに] 布施辰治展」
- 9月 7日 毎日新聞 「関東大震災めぐり朝鮮人虐殺  
吉野作造らが実態調査」
- 11月24日 大崎タイムス 「読売・吉野作造賞受賞  
牧野摂南大准教授が講演」
- 12月25日 河北新報 「大崎で県高校弁論大会  
築館高・相沢さん最優秀賞を受賞」
- 1月22日 河北新報 「尚志 旧制二高の若者に学ぶ」
- 1月22日 毎日新聞 「東北帝大と宮城の高等教育」
- 1月31日 大崎タイムス 「吉野作造記念館25周年」



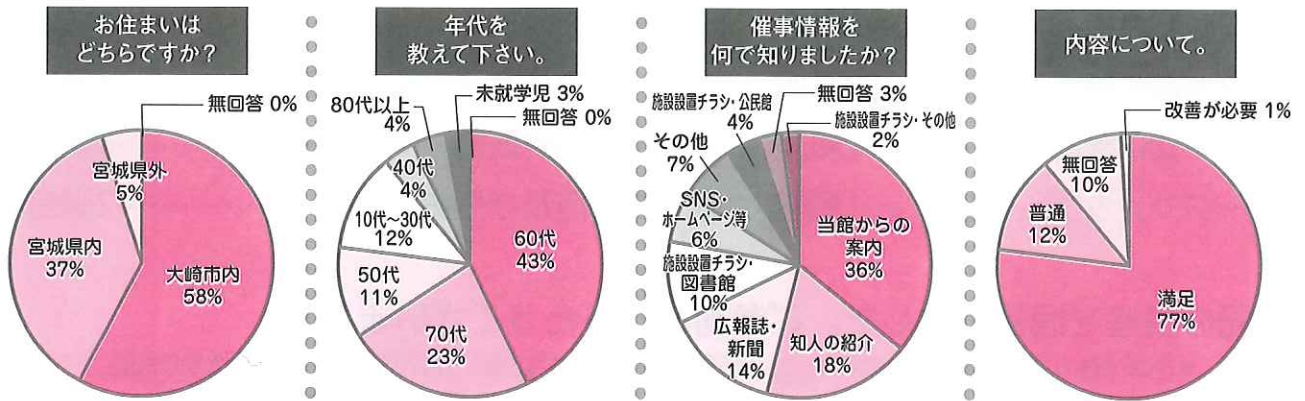
1月22日 ミヤギテレビ「OH! バンデス」ロケ  
ティーナ・カーリーナさんご来館



# 2019年度 アンケート集計結果

2019（令和1）年度に実施したアンケート内容の一部をご紹介します。  
当館では常時ご意見・ご感想等を受け付けておりますので、お気軽に声をお寄せください。

●集計数 **413名**（内訳：企画展、講座、GW イベント、クリスマス会、各種講演会）※2020年3月4日時点



※一部複数回答含む

## お客様からのご意見・ご要望および改善・対策 ※抜粋

- 法学を勉強しています。憲法について考えるよい機会になりました。……………(憲法記念日講演会→ P2)
- 古川高校合唱部の歌がよかった。……………(GW イベント→ P2)
- 作造さんの論旨、実際の文章をテキストとしてとても分かりやすく説明していただき、理解を深めることができました。今後もこの講座を継続して欲しい。……………(市民大学講座→ P6)
- 最後の「ふるさと」で、こらえていた涙が流れました。……………(チャリティーコンサート→ P2)
- 支倉使節団の命がけの気概は、そのまま東北みちのく発の生き抜く気概に繋がっているように感じます。素晴らしい講座でした。……………(郷土史講座→ P2)
- 震災翌日から発行された壁新聞の持つ力に、深く感銘しました。貴重な情報源として被災した皆さんの救いになったことでしょう。……………(企画展記念講演→ P3)
- 日米関係のみならず、ヨーロッパ、東アジアの動向を加えて解説していただき、戦前から戦後に至る日本外交の理解を深めるのにとっても役立ちました。…(吉野ネットワーク交流事業 人材育成研修会 基調講演会→ P4)
- 音声ガイドとともに見学しました。自身の震災体験と、布施辰治の信念、吉野の民本主義を重ねて、私も何かできることを探して生きていきたいと思いました。……………(前期企画展→ P3)
- 投票体験できたのがよかった。……………(クリスマス会→ P6)
- 次代を担う若い人たちの素晴らしい活動に感動しました。継続は力なり。取り組みを大いに広めて発展させて欲しい。……………(生誕記念イベント→ P10)
- 部屋が真っ暗で、目が疲れました。もう少し明るかったらよかったかも。……………(郷土史講座→ P2)

☞ ご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。プロジェクターを使う際の室内の照明は難しいのですが、できる限り配慮してまいりたいと思います。



● **吉野作造記念館 友の会 市民大学開催講座 一覧** ●

**開催講座総合計：17講座**



**2019年度**  
(2019.04~2020.03)  
会員数：37名

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 企画展記念講演会……………1講座 | 憲法記念日講座……………1講座       |
| 吉野作造関連講座……………8講座 | 読売・吉野作造受賞記念講演……………1講座 |
| 芸術・文化講座……………2講座  | 文学・思想史講座……………1講座      |
| ワークショップ……………1講座  | 郷土史講座及び歴史講座……………2講座   |

下記の講座を開催しました。ご参加ありがとうございました。

- |                                  |                            |
|----------------------------------|----------------------------|
| 4月 ●吉野作造の文章を読んでみよう……………全3講座      | 前期：4月2回 5月3回 6月1回 合計6回開催   |
| 5月 ●憲法記念日講演会……………5月 3日           | 講師：晴山 一穂 氏 (専修大学名誉教授)      |
| 7月 ●郷土史講座……………7月 6日              | 講師：濱田 直嗣 氏 (サンファン館 館長)     |
| 7月 ●企画展記念講演会……………7月28日           | 講師：平井 美智子 氏 (石巻日日新聞社常務取締役) |
| 9月 ●芸術・文化講座 (切込焼講座)……………9月15・29日 | 講師：畠山 静子 氏 (切込焼記念館学芸員)     |
| 10月 ●朗読ワークショップ……………10月 1日        | 講師：渡辺 祥子 氏 (フリーアナウンサー・朗読家) |
| 10月 ●吉野作造の文章を読んでみよう……………全3講座     | 後期：10月3回 11月3回 合計6回        |
| 11月 ●読売・吉野作造受賞記念講演会……………11月16日   | 講師：牧野 邦昭 氏 (摂南大学経済学部准教授)   |
| 1月 ●入門講座 (1から学ぶ吉野作造)……………1月25日   |                            |
| 1月 ●生誕記念館長講演……………1月26日           | 講師：氏家 仁 (当記念館館長)           |
| ●文学・思想史講座……………2月13・15日           | 講師：小嶋 翔 (当記念館主任研究員)        |
| 2月 ●歴史講座……………2月29日               | 講師：後藤 彰信 氏 (元宮城県高校教諭)      |

## 2020年度 吉野作造記念館 友の会 (市民大学)

# 会員募集中!!

新・友の会  
講座内容も  
一層充実

学生の皆さんのご感想(続き)

古川中学校キャリアアセスション

特に私が印象に残っている事は、勉強はやっても終わりが無いという所です。人は生き続けるかぎり学び続ける事ができるからです。小学校や中学校、高校では学んでいない事が大人になっていくにつれて学ぶ事が出来ます。なので私は大人になっても学び続ける事を大切にしていきたいです。

(古川中1年 村瀬悠那さん)

宮沢小学校出前講座

ぼくは先日のお話で、吉野作造さんが人に尽くしていた人だということが分かりました。吉野作造さんは、ヨーロッパや中国に留学していたと聞き、世界に興味を持っていったんだなと思いました。そして、えらいからといって何でも決めるのではなく、国民みんなのために政治をするという考えで、日本の政治を変えていることが分かりました。ぼくは将来、医者になりたいと思っていますので、吉野作造さんみたいに人に尽くせる人になりたいです。

(宮沢小6年 石崎優清くん)



# 表彰などのご報告



3月9日

## 明るい選挙推進協会 優良活動賞を受賞

主権者教育への取り組みを評価

吉野作造記念館指定管理者・NPO法人古川学人は、公益財団法人明るい選挙推進協会の「令和元年度 明るい選挙推進協会優良活動賞」を受賞しました。この賞は国民の投票参加・きれいな選挙の推進、また政治意識の向上を目的に行われているもので、若者の選挙教育（主権者教育）や投票率の向上などに取り組み市民や学生の団体、また各地区の明るい選挙推進協議会が対象となります。

過去3年間で県内のべ18校で行った主権者教育の講座、主権者教育に関する研究、幼児・保護者向けの啓発的な投票体験イベント、高校生デモクラシー塾などの古川学人が取り組む「人づくり（シテイズンシップ普及）事業」が評価され、今回の受賞となりました。

## 社会課題解決「みやぎチャレンジプロジェクト」 ご寄附目標額を達成しました！

宮城県共同募金会（赤い羽根共同募金）による「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業は、さまざまな社会課題の解決にとりくむ県内の団体が、活動PRと活動資金の寄附募集を行うものです。

NPO法人古川学人は、「博物館を子どもたちの社会性を育む拠点に」をテーマに令和2年度と同プロジェクトに参加し、令和2年1月1日～3月31日の募集期間に、目標額50万円を大きく上回る65万4,987円のご寄附を頂戴しました。

今後とも地域、社会、未来のための事業に取り組んでまいります。ご協力いただいた皆さまには心より御礼申し上げます。



◆◆ 大崎市は民主主義の父・吉野作造博士の生誕地 ◆◆  
博物館を子ども向け社会教育の拠点に！！  
NPO 吉野作造記念館  
この募金の活動期間は令和2年1月1日から3月31日までとなります  
近年、学校や家庭だけでなく、地域の中で様々な大人と関わり合いながら、子どもたちの社会性を育むことが必要とされています。そのことは、将来の地域社会の担い手を育て、希薄化が危惧される地域コミュニティを再生することにもつながります。  
本事業は地域の文教施設を活用することで、地域の歴史・文化に根ざした総合的な子どもたちの社会教育拠点を作ります。  
皆様のご協力をお願いします！！

## 「みやぎチャレンジプロジェクト」でNPO法人古川学人にご寄附いただいたみなさま

- |    |             |                 |                 |
|----|-------------|-----------------|-----------------|
| 団体 | 我妻建設株式会社 様  | 明治合成株式会社 様      | 株式会社リフレッシュかむろ 様 |
|    | 株式会社マツモト 様  | 株式会社チバミン 様      | チカラ商会 代表 新井 力 様 |
|    | 社会福祉法人賛育会 様 | 株式会社氏家建築設計事務所 様 |                 |
| 個人 | 大高 誠子 様     | 早坂 竜太 様         | 佐々木公明 様         |
|    | 片瀬 弥生 様     | 松浦 昭彦 様         | 千田 信良 様         |
|    | 武藤秀太郎 様     | 清水唯一朗 様         | 宮崎 黄石 様         |
|    | 佐々木浩司 様     | 須田 篤 様          | 佐藤 俊明 様         |
|    |             |                 | 三塚 義信 様         |
|    |             |                 | 千田和佳奈 様         |
|    |             |                 | 宮崎 露苺 様         |
|    |             |                 | 高橋 久之 様         |
|    |             |                 | 平野 博 様          |
|    |             |                 | 吉田 尚史 様         |
|    |             |                 | 晴佐久祐悦 様         |
|    |             |                 | 氏家 仁 様          |

氏名非公表ご希望 27件 (4団体、23個人)

合計654,987円



# 記念館からのお知らせ

## 新型コロナウイルス対策に伴う 当館の利用制限について

吉野作造記念館では大崎市教育委員会の方針に基づき、新型コロナウイルスの感染予防のための措置として、令和2年4月1日以降下記の利用制限を行います。

利用者の皆様におかれましては、何卒ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

### 展示の見学に関して

- ・お名前・ご住所・電話番号・ご体調などに関する確認書にご記入いただきます。
- ・見学者が10名以上となった場合入館制限を行います。
- ・団体見学のご予約はお断りいたします。

### 会場の貸出に関して

- ・企画展示室（研修室）については、貸出を中止いたします。
- ・講座室の利用にあたりましては、①原則15名程度の利用人数、②参加者の情報の事前提出および当日の体調確認をお願いいたします。定員を超える場合、不特定多数を対象とした内容の場合は貸出不可となります。

### 当館主催のイベントに関して

- ・4月～5月に予定していた下記のイベントは中止となりました。6月以降につきましては未定となります。  
基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」（4月～5月）、  
憲法記念日講演会（5月3日）、GWイベント（5月5日）

### その他

- ・学習スペースはご利用いただけません。
- ※上記は4月1日現在の対応となります。最新の状況につきましては当館ウェブサイトをご参照いただくか、当館までお問い合わせください。

## 2019年10月1日（火）より 入館料・施設使用料が変更されました。

大崎市では「使用料・手数料見直し基本方針」に基づき、公の施設使用料等の改定を実施することとなりました。つきましては2019年10月1日（火）より当館におきましても入館料・施設使用料が改定となりました。何卒ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

常設展入館料 ※（ ）内は20名以上の団体料金

- ・一般 310円（250円）⇒320円（260円）
- ・高校生 210円（160円）⇒220円（160円）
- ・小・中学生 100円（80円）⇒100円（80円）

企画展入館料

- ・改定なし

会場使用料

- ・講座室 1,200円（400円）⇒1,260円（420円）
- ・研修室 2,400円（600円）⇒2,520円（620円）
- ※日中2時間以内、非営利目的、冷暖房無しの場合。（ ）内は30分ごとの増額

書籍・グッズ

- ・小冊子『大正デモクラシーの旗手吉野作造』、および委託販売書籍は消費税分8%⇒10%。他は改定なし。
- ※詳細につきましては、当館ウェブサイトなどでご確認ください。



## 吉野作造記念館 利用案内

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)		
	入館料 (常設展)	入館料 (企画展)
一般	320円 (260円)	500円 (400円)
高校生	220円 (160円)	300円 (200円)
小・中学生	100円 (80円)	200円 (100円)
※（ ）内は20名以上の団体料金		
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館日	

## 吉野作造記念館だより 第28号

2020年4月1日発行

編集・発行 吉野作造記念館  
特定非営利活動法人古川学人  
〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3  
Tel 0229-23-7100 Fax 0229-23-4979  
Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp  
https://www.yoshinosakuzou.info/

## 平成31年／令和元年度 YOSHINOサポーター

<p>地域と共に 住いと共に 154年</p> <p>株式会社 <b>チバミン</b></p> <p>電話 0229-22-0291</p>	<p>225044717-01大崎市 2222267068888と地域に貢献します。</p> <p>株式会社 <b>佐藤酸素</b></p> <p>電話 0229-4116 0229-4117 0229-4118 0229-4119</p> <p>大崎市青柳町1丁目3-57 支店 大崎市大崎町1丁目10-1 支店 0229-22-1069</p>	<p>人・街・くらし 明日のコーディネーター</p> <p><b>MURATA CORPORATION</b></p> <p>株式会社村田工務所</p> <p>URL: http://www.murata-kogyosho.com</p>	<p>日本で唯一の環境クリエーター 有限会社 千田清輝 <b>chida</b></p> <p>大崎市古川福沼字西田 77 電話 0229-27-3151</p>	<p>貸付会社 特別自治体長官によって 設立された法人です</p> <p>株式会社 <b>美研</b></p> <p>看板 デザイン 設計 施工 一級屋外広告美術技能士事務所</p> <p>株式会社 <b>美研</b></p>
<p><b>株氏家建築設計事務所</b></p> <p>〒989-0004 大崎市青柳町三丁目9番27号 1F (201号)</p> <p>TEL 022-224-3371 FAX 022-224-7691</p>	<p>ふるしんは、地域に密着したコミュニティ・バンク</p> <p>株式会社 <b>ふるしん 古川信用組合</b></p> <p>宮城県大崎市古川十日町7-8 電話 0229-22-1069</p>	<p>小さいことからコツコツと 何でもします <b>見積無料!</b></p> <p><b>我妻建設(株) TEL28-2639</b></p>	<p><b>やればできる</b></p> <p>内藤印刷有限公司</p>	<p><b>株式会社 共同システムサービス</b></p>
<p>株式会社 <b>北都開発</b></p>	<p>大崎市観光物産センター <b>D520</b></p> <p>一般社団法人 みやぎ大崎観光公社 <b>七研</b></p>	<p>書道教室 <b>遊山社</b></p>	<p>株式会社 <b>アクセス</b></p>	<p>株式会社 <b>三ノ塚タイヤ</b></p> <p><b>株式会社 古川ガス</b></p>
<p><b>若見自動車</b></p>	<p>あ・ら・伊速な道の駅</p>	<p>ツクイ古川デイサービス</p>		